

A - 22 次の記述は、周波数帯ごとの電波の伝搬の特徴について述べたものである。□内に入れるべき字句の正しい組合せを下の番号から選べ。

- (1) 中波(MF)帯の電波の伝搬では、昼間はD層による減衰が大きいため電離層反射波はほとんど無く □A□ により伝搬するが、夜間はE層又はF層で反射して遠くまで伝わる。
- (2) 短波(HF)帯の電波の遠距離伝搬に使用される電離層の電子密度は、□B□ の影響を受け季節や時刻によって変化するため、使用できる周波数も変化する。
- (3) 超短波(VHF)帯の電波は、伝搬距離が短いときは主に □C□ により伝わり、通常は電離層反射波は無いが、スプラジックE層での反射により遠距離まで伝搬することがある。

A	B	C
1 散乱波	太陽活動	地表波
2 散乱波	地球磁界	地表波
3 地上波	地球磁界	地表波
4 地上波	地球磁界	直接波
5 地上波	太陽活動	直接波

長波 地表波 E層
 中波 地表波 昼はD層減衰 E層反射
 短波 F層
 超短波 Es